



例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 森信 秀樹
幹事 諏訪 昭浩

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail : hwrc@godorc.gr.jp
作成・会報雑誌・広報委員会

RIテーマ Light Up Rotary

「ロータリーに輝きを」

本年度会長テーマ

「隗(かい)より始めよ ロータリー」

「世界理解月間」

2015年2月26日 第2180回例会
2月第4例会

◆ 会長時間 ◆

森信会長



皆さんこんにちは。今週22日の日曜日に佐伯区みずとりの浜公園でのロータリーデーにご参加いただきましてありがとうございました。あいにくの天気でしたので、その責任を取るため、先ほどスマイルに出宝させていただきました。後ほど詳しい報告があるかと思いますが、鮫島理事、金本理事はじめ記念事業委員会の皆様には大変お疲れ様でした。

植樹はシカゴロータリークラブ110周年と当クラブ45周年を記念して相方で植樹をするという交流事業でしたが、春先にピンク色の花を咲かせる「四手辛夷」(してこぶし)を植樹させていただきました。当日は会員、ご家族はじめ鈴峯IACの生徒さん、青少年交換留学生、米山奨学生、なぎさ高校のジョーイー君のクラスメイトなど当クラブとゆかりのある方々とともにロータリーが社会奉仕活動をさせて頂いている「防犯パトロール隊」「はなみどり」や地元町内会など地域の方々にも参加いただきました。改めて交流ができ、一層ロータリークラブへの理解が深まったのではないのでしょうか。

また、24日朝からのベンチの塗装には私も参加して無事塗り替え修理が終わりました。米山地域環境委員長はじめ記念事業委員会の皆さんには再度汗を流していただきましてありがとうございました。

本年度会長テーマであります「隗より始めよロータリー」を実践して頂きました。

さて、いよいよ来週5日は45周年記念式典・祝賀会です。漏れのないよう、また当日バタバタあわてないよう関係委員会には改めて細部までのシミュレーションをしておもてなしに失礼の無いようよろしくお願いいたします。

また、4日の台南ロータリークラブ歓迎会では、昨年60周年でお伺いした際にお目にかかりました林会長以下当クラブと交流のある方々が多数お見えになりますので大変楽しみにしております。

本日は会員卓話ということでお二人の方に、思う存分語っていただきたいと思っております。

● 会務報告 諏訪(昭浩)幹事

● 会務報告

諏訪(昭浩)幹事

※次週例会は時間を17:30からに変更し、創立45周年記念式典・祝賀会を開催いたしますので、お間違えのないようお願いいたします。なお、4日(水)18:00より台南ロータリークラブ歓迎会が開催されますので、あわせてご出席をよろしくお願いいたします。

● 委員会報告

※ プログラム・出席委員会

出席報告 柴田委員

本日 (2月26日・木曜日)

会員数 77名 出席者 66名

欠席者 11名 ご来客 2名

ご来賓 0名 ゲスト 0名

計 68名

前々回 (2月12日・木曜日)

出席率 100%



※ 梶本次年度幹事

例会終了後、4階「カメリア」において次年度第1回クラブ協議会を開催いたしますので、理事会役員及び各委員長は出席願います。

※ 創立45周年記念事業委員会 鮫島委員長

過日2月22日(日)、ロータリーデーでは雨の中、ご家族の方たくさんご出席頂き誠にありがとうございました。当日は佐伯区長の国本様、広島港湾振興事務所長の小田様、2名のご来賓臨席のもと無事記念式典植樹を執り行いました。残念ながら雨天の為、ベンチ塗装作業が当日実施出来ませんでした。24日(火)に委員会メンバーを中心に有志の方々に集まり頂き、作業を致しました。素晴らしい出来上がりとなっています。みずとりの浜公園に行かれる機会がありましたら是非ご覧下さい。今回の事業をもって45周年記念事業は全てを終了することが出来ました。ご協力いただきました会員、そしてご家族の方々に對し、改めて御礼を申し上げて報告と致します。ありがとうございました。



※ 姉妹クラブ友好委員会 安部委員長

台南RCより39名が、3月4日午後4時 ANA に到着します。理事会、姉妹クラブ委員は午後3時30分に1Fロビーに集合して下さい。他の会員も都合がつけばよろしく願いいたします。

3月5日には、午前8時30分から午後4時30分まで観光をいたします。宮島と、本通りでの買物を予定しています。午後5時30分より式典、祝賀会、二次会と続いていきます。よろしく願いいたします。

● 同好会報告

紫友会 新本世話人

紫友会2月例会を元会員の梶川博さんも含めて総勢22名の参加者を得て2月21日(土)、広島ゴルフ倶楽部鈴ヶ峰コースで開催しました。

寒さも少しづつ緩みはじめた時期とはいえ、皆さんまだまだ季節的に本領発揮とはいかなかったでしょうが、結果発表を致します。

優勝はアウト47、イン46、トータル93、HDCCP 18、ネット75で松岡輝明さんでした。松岡さん、朝早くから二番乗りで美鈴ガーデンで練習された成果が発揮され、よかったですね。おめでとうございます。ちなみに私は一番乗りだったのですが、全くダメでした。

2位はトータル100、ネット78.4で齊藤さん、3位はトータル91、ネット78.4で鈴木さんでした。ベスグロはトータル85でいつもの上田さん、シニア優勝はトータル92、ネット79.4の松岡幹太郎さんでした。残念ながらのブービーは、ハンディ申告ナシの梶川さんが入って頂いたおかげで私、新本ではなく村上さんでした。

なお、元会員の梶川さんには半期分の会費を当日頂戴し、紫友会では表彰対象に加えることとしましたのでご報告しておきます。

次回例会は3月14日(土)和木ゴルフ倶楽部です。紫友会では恐らくはじめての開催になると思いますが、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

紫雀会 鈴木世話人

先週の19日木曜日に紫雀会の2月例会が、庚午クラブで開催されました。

先月、紫雀会に入会されて、いきなり四暗刻（スウアンコ）という役満を達成された宇野さんに注目が集まりましたが、残念ながら、今回は、入賞出来ませんでした。今後の活躍が期待される所です。ところで、優勝は、岡野名人でした。わずか2千点差の僅差での優勝でした。大変うれしそうで、こぼれんばかりの笑顔が見られました。そして、残念ながら、涙の2位は、小橋さんでした。第3位には、大ベテランの園尾さんが、入賞されました。

今回は、3月19日の予定です。多数のご参加を、よろしくお祈りします。

シニア優勝 松岡幹太郎君

バスグロ 上田君

ブービー 村上君

全員出宝

2月23日はロータリー設立記念日です。110年前の1905年のこの日、アメリカ・シカゴで、青年弁護士ポール・ハリスと三人の仲間が誇りあるロータリーの最初の会合を行いました。皆さんと共に設立記念日をお祝いしたいと思います。全員出宝をお願いします。

この素晴らしい記念日が誕生日の松田さんはダブルでご出宝下さい。

● 会員記念日



奥様お誕生日おめでとうございます。

(9名)

- | | |
|-----|-------|
| 小島君 | 明子夫人 |
| 日域君 | 祐子夫人 |
| 坂田君 | 玲子夫人 |
| 小橋君 | 裕子夫人 |
| 上田君 | 美智子夫人 |
| 大植君 | 香代子夫人 |
| 井下君 | 由紀子夫人 |
| 堀江君 | 昭恵夫人 |
| 山木君 | 路子夫人 |

● 1月決算月おめでとうございます。

(3名)

- | | |
|-----|---------|
| 笹野君 | おおたけ様 |
| 井原君 | 井原クリニック |
| 中岡君 | ナカオカ |



● スマイルボックス SAA 井下副委員長

紫雀会2月例会

- | | | |
|-----|-----|-----|
| 優勝 | 岡野君 | ダブル |
| 準優勝 | 小橋君 | |
| 3位 | 園尾君 | |

紫友会2月例会

- | | | |
|----|-------|-----|
| 優勝 | 松岡輝明君 | ダブル |
| 2位 | 斎藤君 | |
| 3位 | 鈴木君 | |

● スマンボックス

森信会長、荒谷副会長

去る2月22日のみずとりの浜公園でのロータリーデーは、あいにくの雨天でした。

その責任をとって出宝致します。

森信会長 トリプル

荒谷副会長 ダブル

井下君

例会開始前に会場内を歩いておりましたが、下を良く見ていなかった私は足を電源コードに引っかけてスッテンコロリン転んでしまい、皆様を驚かせてしまいました。ご心配をおかけしました。スマンボックスに出宝させていただきます。

● 例会料理メニュー



● 卓話予告

日時	テーマ
3/19(木)	「病理医からみたアベノミクス」 広島大学名誉教授 難波 紘二氏

■ 新会員卓話



林田 博君

今日は私の趣味のマラソンの話をしたいと思います。

マラソンの起源はギリシャの地名である「Marathon」

を英語読みしたものらしいです。

紀元前490年、ギリシャ軍の兵士が戦場の Marathon からギリシャまで約40km走り勝利を報告し、絶命したという故事に由来されているようです。その42.195kmについては第1回～3回オリンピックまでは約40kmをマラソン競技とし、明確には決められておらず実施されていました。

第4回のロンドンオリンピックでも26マイル(41.843km)を走るようになっていましたが、当時の女王アレクサンドラが『私はスタジアムでゴールを見たい』、『子供、孫たちにはスタートを見せたい』、『スタートをウインザー城の芝生の上まで延長しなさい』ということで距離が延長され、現在の42.195kmになったといわれております。

現在の世界記録は2時間2分57秒ケニア出身のデニス・キプルト・キメットで2014年のベルリンマラソンで記録が作られました。現在のランキングをみてもケニア出身の選手が多数を占めています。日本記録は2002年に高岡寿成選手が2時間6分16秒を記録し、10年以上記録が破られていない状況です。そんななか日曜日に開催された東京マラソンで初代“山の神”と言われた今井正人選手が2時間7分39秒の好記録を出したことはうれしいニュースでした。

さて、私の自己ベストは5年前の3時間27分50秒でした。自己ベストを更新する為、広島城、太田川、平和大通りを走り続けました。休日は大芝水門、広島城で20～30kmの練習をしていました。ある時には宮島口の往復を走ろうと計画し、宮島口には順調に走れたものの、帰りはどうしても走れなくなり商工センターから路面電車で帰ることがありました。

また食事面ではエネルギー補給の為、3日前から炭水化物を大量にとる『カーボ・ローディング』を実施し、大会に臨みました。

2014年12月14日(日)第28回青島太平洋マラソン気温12度の絶好の条件でスタートしました。宮崎市のメイン通りの橘通り、宮崎神宮を折り返し青島海岸を再度折り返し、スタートのサンマリスタジアムに戻るフラットなコースです。38km過ぎの太平洋を望む青島海岸は疲労と強風により、景色を楽しむことも出来ず、ただただ苦しい時間でした。残り2km、1kmと苦しみなながらも無事完走することが出来ました。

記録は3時間21分14秒。自己ベストを約6分短縮することが出来ました。

今の目標は市民ランナーの憧れ“サブスリー”(フルマラソンを3時間切り)を目指し、トレーニングに励んでいます。将来的には年齢別ランキングで100位以内を目標に60歳、70歳になっても走り続けたいと思っております。

■ 卓話

広島被爆 70 周年を迎えて 原爆前後の手記



松岡 幹太郎 君

8月6日

疎開先の芸北町は、空は晴れて雲一つない8月の青い宇宙から強烈な太陽の光が地上一切の万物に降り注いでいた。しかし押しつけられるような静寂な朝である。

電圧が弱いのでラジオも全然声を立てないが、今日の異常な予感とはただごとではないと思ひ、しずめた気持はなかなか去らない。

二丁ほど先の隣家の人達も不思議な今朝の空の様子にとりどりの噂くらいで確かな情報は得られない。

今下の県道に子供が走り出している。

「ホウ、何か落ちて来るよう、キラキラ光つとるよ」

「紙じゃ、紙が降って来る」

今午前10時40分である。高い蒼い空からキラキラと日光に反射する紙片が降り出して来た。山

の峯や谷の間へヒラヒラと落ちて来る。

まさか紙爆弾でもあるまいと思われるが、五片、八片、十片とばら撒いたように落ちて来た。恐ろしい予感^{予感}は更に続いている。

紙片は次第に道にも田の中や畝の中にも落ちて来た。中ば焦げた紙もある。風もないのに高い天空から降って来る不気味な物体である。私も飛び出して手には直ぐには触れずじっと見ながらしゃがみ込んで見ると小学児童の図画もあり、作文もあるし、放送局の書類もある。敵の落とした危険物でないことは明白となった。それらのものを見ると、広島から来たことに間違いない。広島はどこか火災に会ったことは想像されるが、山坂迂回の道を辿れば十六里一直線にして十里はあるが、今朝の爆発音から3時間経った今、神秘的な旅を続けて来たこの紙片は胸が詰まるほどの悪い予感を与えずにはいない。

8月8日

去る6日の夜は焦慮の内に殆んど眠られず事情の判明したのは7日朝である。広島市が敵の科学兵器のため一発の大爆発のために焦土と化したことであり、市中の人命は全滅したという情報である。

可愛いわが子も、自分の生涯をかけて裸一貫から築き上げた財も、また血の流れを同じくする兄弟達も友人や知人もすでに現世の者とは思われないが、その内でも特にわが子がどんな最後を遂げたことであろうか、わずか15才の身で国を呪い、親を恨んではいなかったであろうか。

8月9日

無事は無傷でいる自分の心を励まして、自転車をいたわるように心を配りながら私は広島に向かった。

祇園町、長束町辺りまで来ると火災は逃れた家も爆風で全壊あるいは半壊している。市中心から3キロの地点である。

避難して来た人達や家人がその中に未ださめやらぬ恐怖に包まれたままにいる。

可部から広島までの四里の道はこうした、この世から離れた地獄へ通ずる途であるが、その上にも8月の太陽は焦げつくように照りまざる。

地方から救援に来た兵隊や勤労隊によって死体

が集められ、立ち昇る瓦斯の中で次々と焼かれている。

死体の総ては顔も姓名も解らないから、ただ転がったものを集めては焼いている。メラメラと赤く立ち昇る火焰の先端から人間の黒い油煙が天空を恨んでいるように拡がっている。

これ等の魂もまた、安らかに昇天するとは思われそうにない。

市中には何物もなく、市中心部の鉄筋建築の残体がポツン、ポツンと哀れさを止めて佇んでいる。土や瓦や崩壊して焼けた金属の残骸が芥のように散らかっている。

まだ白い煙や黒い煙が立ち昇っているから、空はどんより灰色に染まっている。その中に確^{しつ}かりした基礎の上に姿勢も崩さず威張っている姿も見た。焼け残った金庫である。この何日間かの間にこれ程威張った姿は珍らしく見えた。

何物かを厚い扉の中に秘めてポツン、ポツンと立っている。

市中に入るにつれて焼け爛れた死体が道路の到る所に転がっている。黒く炭のようになった者や皮膚だけ剥げ落ちて血塗れの死体やまた、丸太のように太くなっている者など。万物の霊長ともいう人間も魂を離れば一塊の物質となり、かくまで変り果てるものであるだろうか。

太田川の清流として名のある市内の川にも丸く脹れた死体が折からの上げ潮に幾百体となく浮いている。また、川岸の石段の上にも転がったままであるが、これらを葬るには兵隊も勤労隊もまだ手が届かないであろう。

夕方も無風の蒸し暑い空気の中に暮れんとしたが、午後7時ソビエトよりの宣戦布告のラジオを聞いた。

日本は最早世界中で無援孤立となる。ソ連との不可侵条約もこうなれば虚無である。神風も吹かず、世界人類から見離されてしまった。日本人はこの地球の上に住むことさえ難しくなってきた。

私一人が呆然として、うつ伏しているだけではなく、だれしも言葉もなく同じ思いに打ち沈んでいるばかりである。

(松岡 鶴治 著)



四つテスト

— 言行はこれに
照らしてから —

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？